

乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (インフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点)

第 48 週 平成30年11月26日 ~ 平成30年12月2日

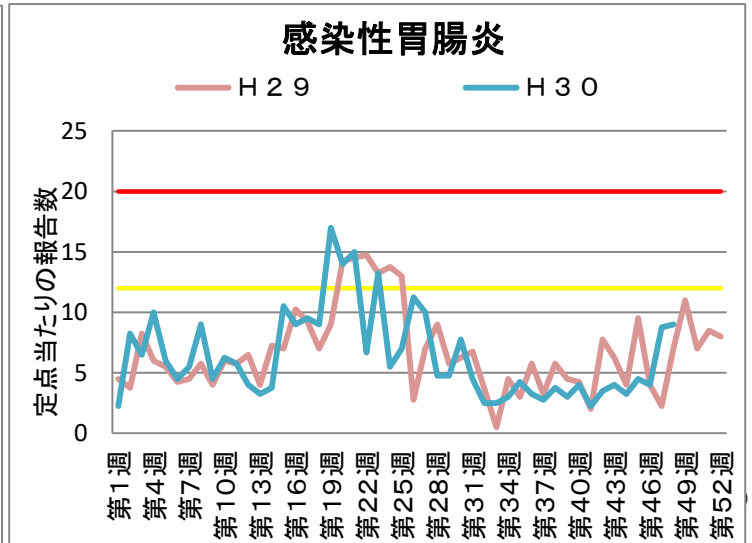
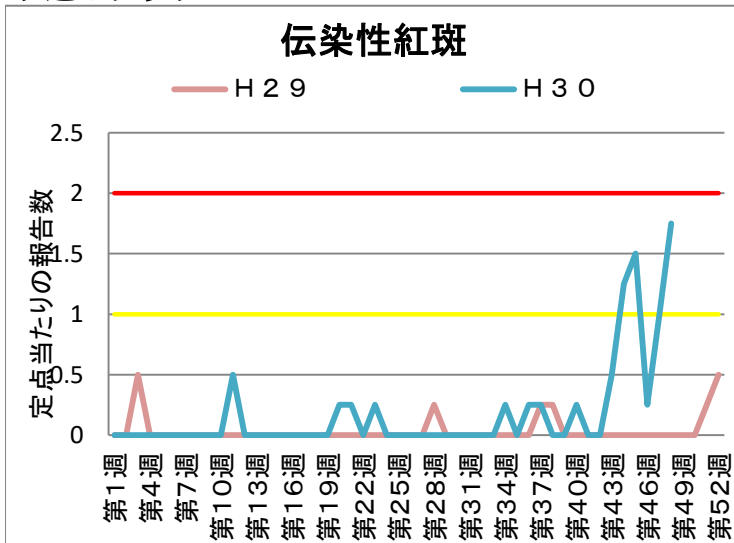
今週のコメント

○伝染性紅斑の報告数が増加しています(定点当たり1.75)。この疾患は、両頬がリンゴのように赤くなることから「リンゴ病」と呼ばれることもあります。非定型例や不顕性感染例があり、風疹と間違われることもあるので注意が必要です。

○感染性胃腸炎の報告数も次第に増加しています(定点当たり9)。この時期の主な病原体はノロウイルスです。魚や貝類、特にカキは加熱してから食べ、感染者や介助者は嘔吐や下痢の後の手洗いを十分行ってください。

○厚労省からの11月30日付の情報では、引き続き風しん患者の報告が続いています。患者の多くは30~50代の男性で、関東と愛知県が主です。妊婦、妊娠希望女性及び家族の方は抗体検査を受け、妊婦以外は必要時にワクチン接種を受けてください。

今週のグラフ



* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	1	伝染性紅斑	1.75
RSウイルス感染症	-	突発性発しん	0.5
咽頭結膜熱	0.5	ヘルパンギーナ	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	流行性耳下腺炎	0.25
感染性胃腸炎	9	急性出血性結膜炎	-
水痘	1.5	流行性角結膜炎	-
手足口病	2.25		

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点 : 7箇所

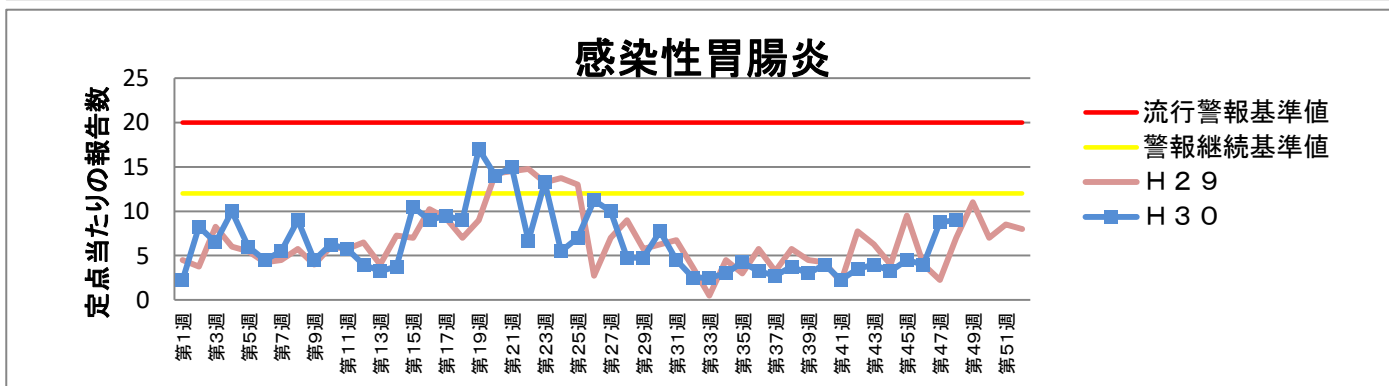
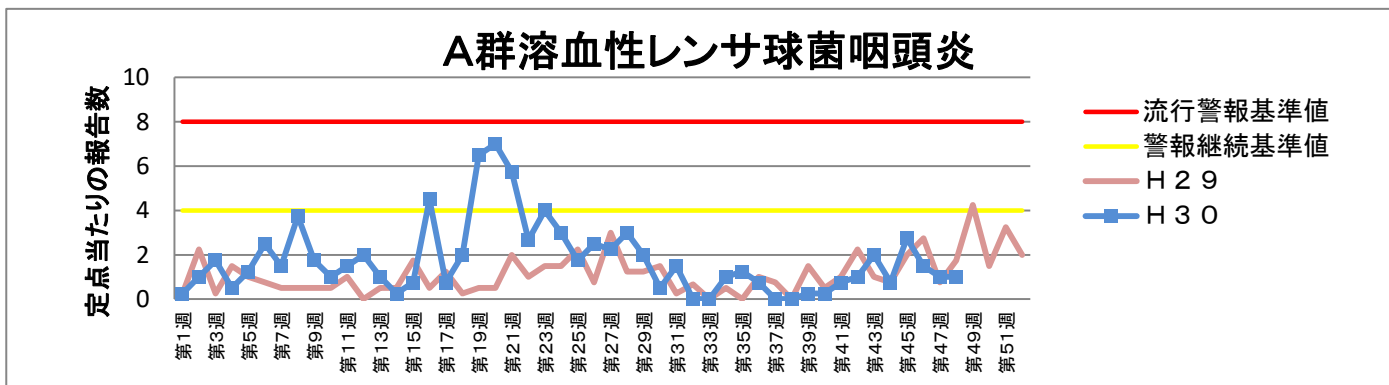
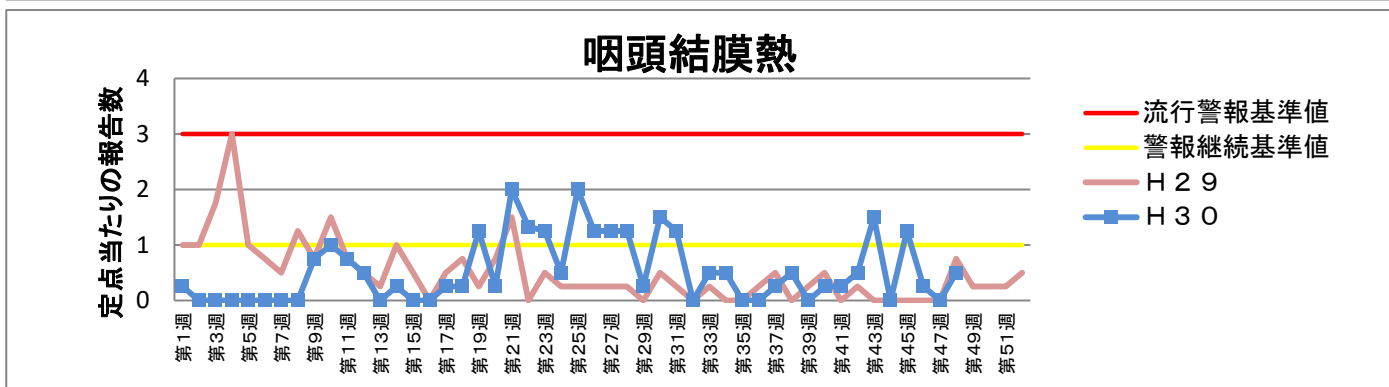
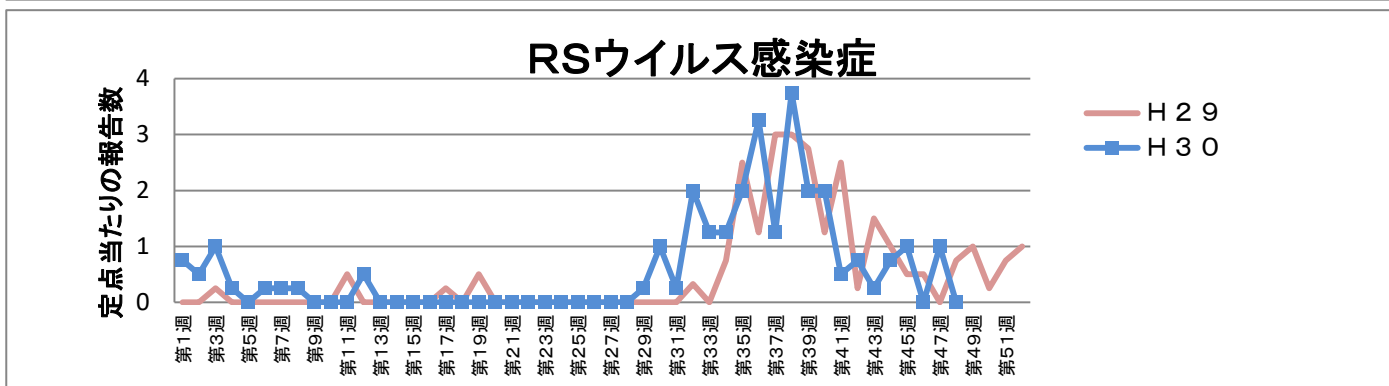
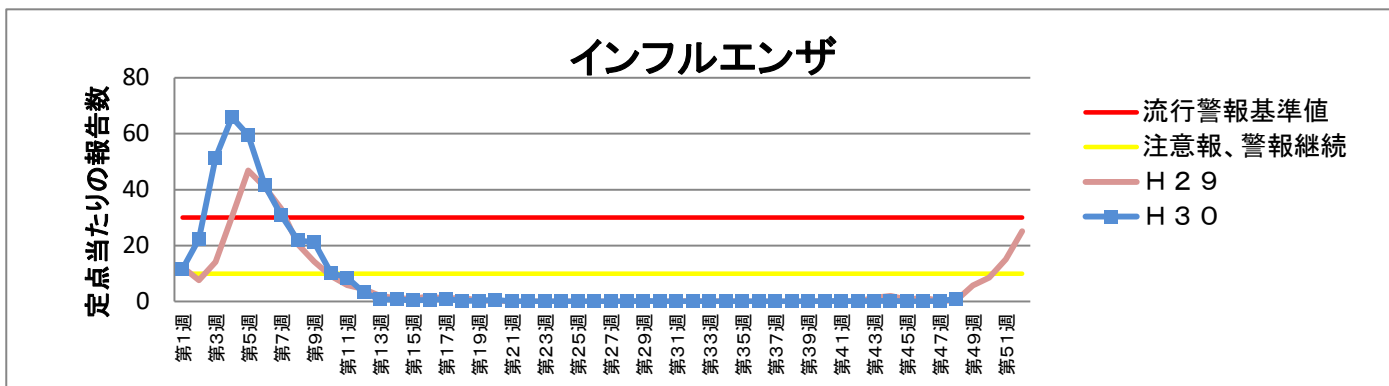
小児科定点 (インフルエンザ以外の疾病) : 4箇所

眼科定点 : 1箇所

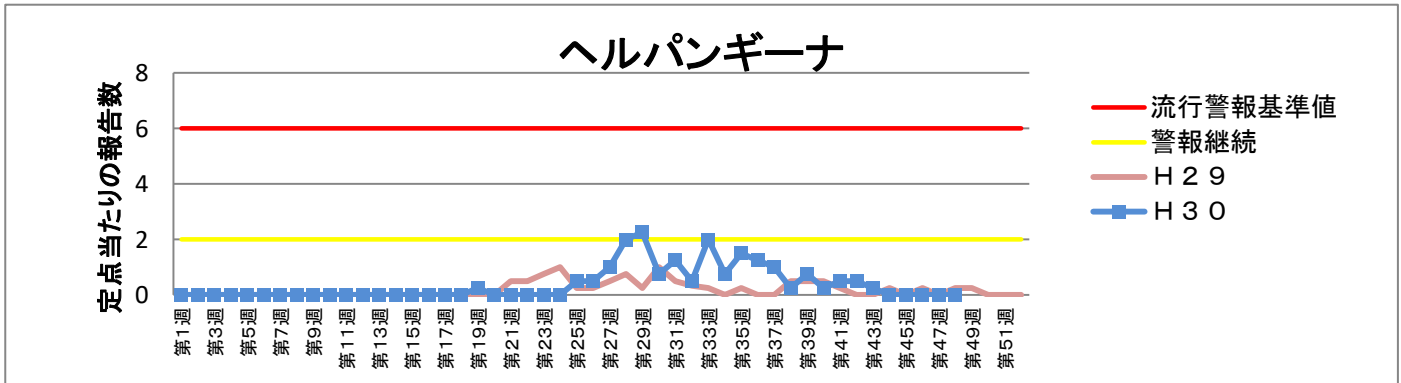
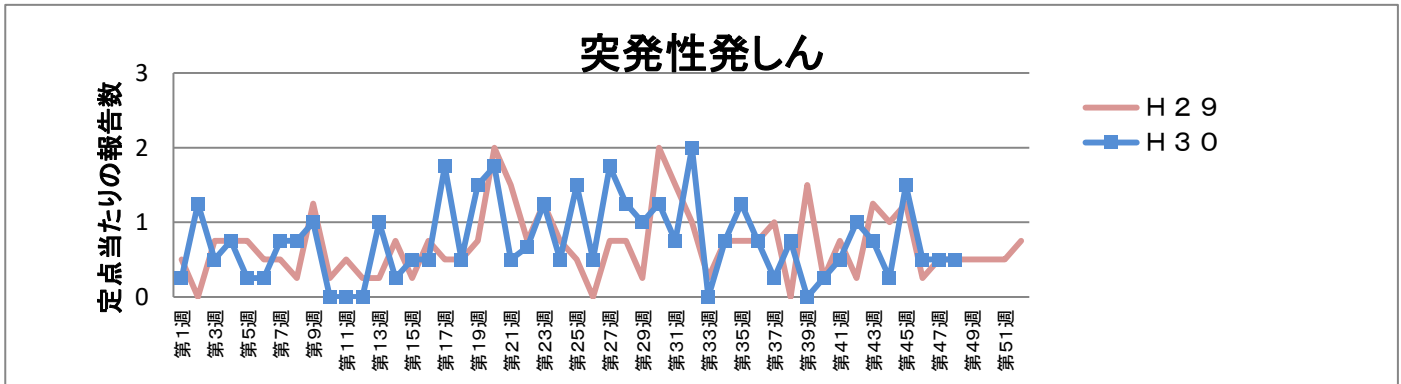
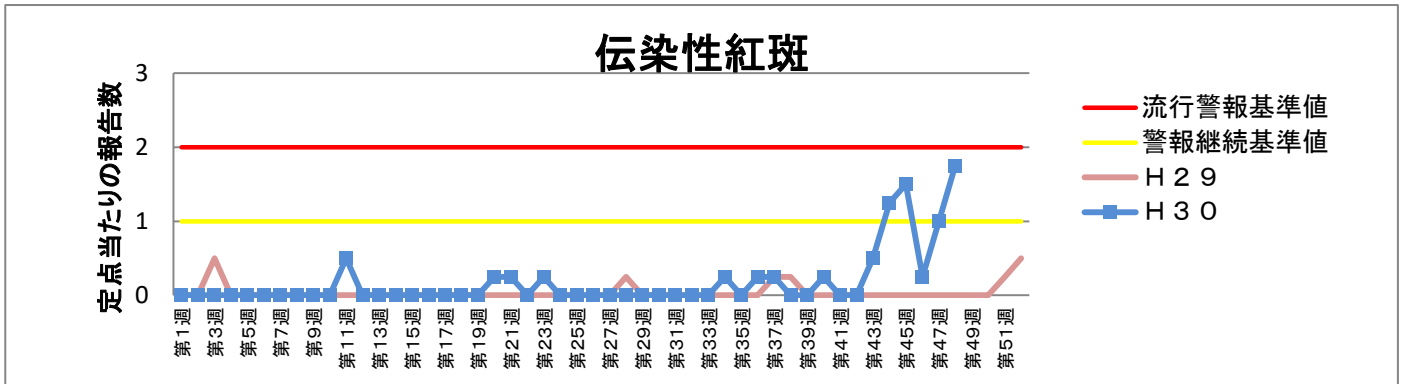
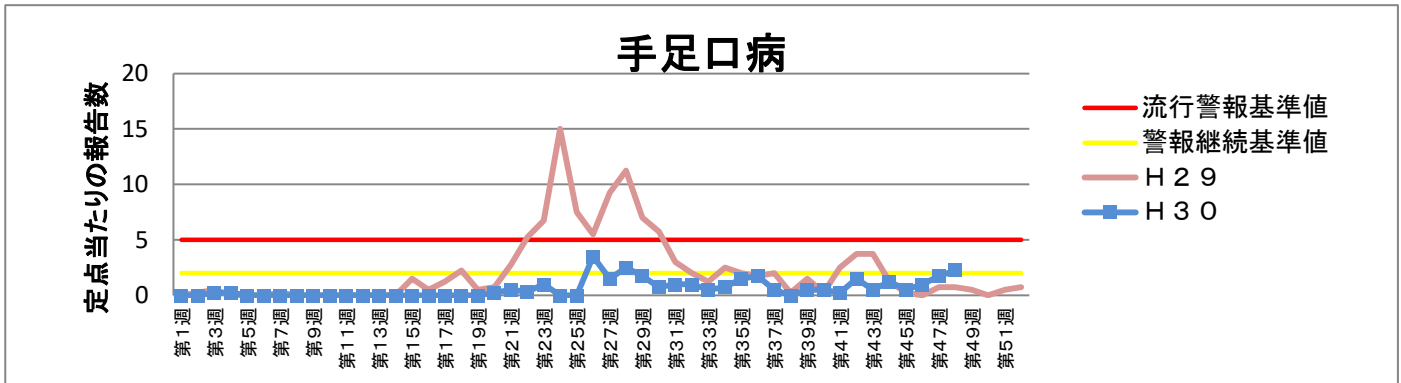
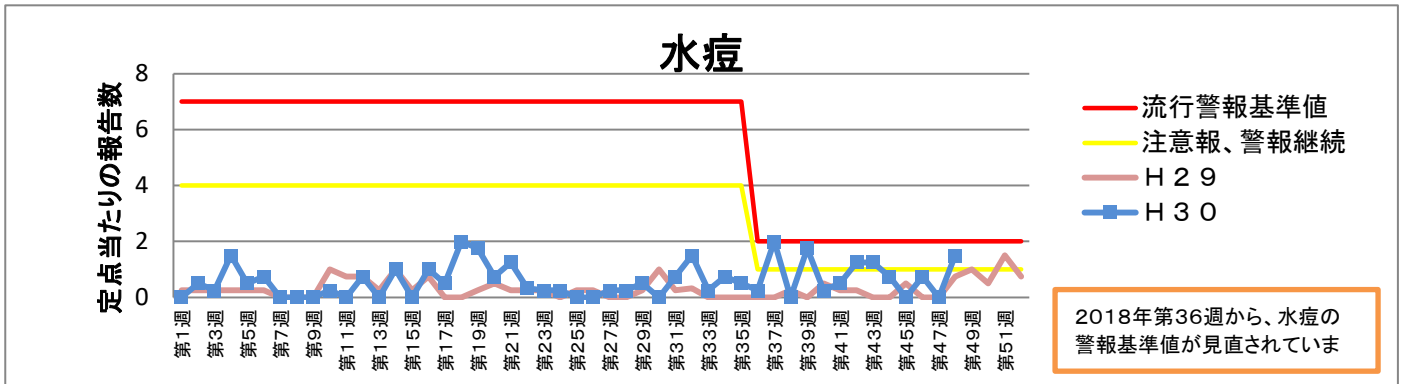
参考資料等

報告週対応表 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

乙訓保健所管内定点当たり報告数推移



乙訓保健所管内定点当たり報告数推移



乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

